

日本財団助成事業

平成15年度海洋体験学習

B & G「体験クルーズ」

実施・募集要項

(ボランティアスタッフ用)

I. 事業概要

1. 目的

体験クルーズを通して、「海・船・自然」について体験させ、知識の高揚及び海事思想の普及をはかるとともに、団体活動を通して社会性を学ばせ、豊かな人間形成を図る

2. 企画及び研修主催

財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団（略称B & G財団）

3. 後援

内閣府・文部科学省・国土交通省・東京都・日本財団

4. 実施期間

平成16年3月27日（土）～4月1日（木）（5泊6日・いずれも船内泊）

5. 実施対象及び人員

全国の小学校5年生から中学校3年生の男女 500名

- ① 日本国内に在住する小学5・6年生又は中学生。
- ② 心身ともに健康で、船内生活、レクリエーション等を含む研修活動、及び船内等における団体行動が可能な方。
- ③ 海、船、海洋環境等に興味がある方。
- ④ 日本語による意思疎通が可能である方。
- ※ 学年は平成16年3月現在を適用としています。
- ※ 上記の参加者1人につき参加費80,000円をいただいています。

6. 寄港地

小笠原・父島（二見港）

7. 使用客船

ふじ丸（23, 235総トン）

8. 実施内容（予定）

（1）研修

- ① 船・洋上生活に関する学習（講座／見学）
- ② 海洋に関する学習（講座／観察）
- ③ 自然環境に関する学習（講座／観察）
- ④ 寄港地での体験活動（ホエールウォッチング／自然・海洋体験活動）
- ⑤ 上記①～④に関連するワークショップ
- ⑥ その他

（2）その他

- ① 結団式・解団式
- ② オリエンテーション
- ③ つどい
- ④ その他

9. 行 程（予定）

月 日	内 容	行 程	備 考
3 / 2 7	結団式／オリエンテーション ＜洋上研修＞ 海洋観察／避難訓練	洋上 （往路）	10:00 参加者受付 13:15 結団式 14:00 晴海出港
3 / 2 8	＜洋上研修＞ 海洋観察／海洋生物に関する講演／自然環境に関する講演／船長講話／操舵室・機関室見学／洋上星空観察 他		
3 / 2 9	＜寄港地活動＞ ホエールウォッチング／自然・海洋体験活動 等	父島	07:00 二見着・下船 （船内泊）
3 / 3 0			17:00 乗船・二見発
3 / 3 1	＜洋上研修＞ 海洋・自然環境等に関するワークショップ活動／ 海洋観察／交流活動 他	洋上 （復路）	
4 / 1	＜洋上研修＞ 解団式		10:00 晴海入港 10:30 解散

- ※ 父島へは、通船により上陸予定ですが、海象が著しく悪化した場合は、上陸できない場合があります。
 ※ 上記の内容及び行程は、日程に支障をもたらす悪天候、官公署の命令、生命及び身体の安全確保のため必要な処置の発生等の事情により、予告なく変更する場合があります。

Ⅱ. ボランティアスタッフ募集要項

1. 対象・募集人員及び資格

満 20 歳以上のボランティア活動希望者 10 名程度

- ①本事業の目的を理解され、海、船、海洋環境等に興味がある方。
- ②活動にあたり日程上支障がない方。
- ③青少年育成に熱意があり、事業期間中に運営全般に協力いただくとともに、下記「3. ボランティア活動内容」のいずれかの活動内容に従事いただける方。

※ 応募者多数の場合、書類選考のうえ、決定いたします。

2. 参加費 無 料 ※ 諸活動に係る経費は当財団が負担いたします。

3. ボランティア活動内容

事業実施に際しては、運営組織（団）を編成して、引率指導や研修運営を行っています。ボランティアスタッフには、スタッフの一員としてご協力をいただくことになります。
 主な活動は、スタッフ（リーダー）として子供達と接し、組を単位とした引率・諸活動の補助、及び生活面のアドバイス等を行っていただくほか、運営担当としての役割があります。

担当名	主な活動内容	活動内容に必要な技能	定員
研 修	・ワークショップ活動(グループ研修)の企画運営 ・全体研修の運営補助	・海や船、海洋環境に関する知識・経験 ・青少年を対象とした研修指導の知識・経験	8 名
保 健	・青少年の健康確認、健康管理、及び体調不良な青少年の看護補助等	・医療・保健分野等における資格、又は知識・経験	2 名

- ※ 希望する担当を選択のうえ、履歴書に記載してください。
 ※ 船内及び寄港地での活動は、全て団体行動となります。

4. ボランティア事前ミーティング

ご応募はボランティア事前ミーティングへ参加可能な方に限らせていただきます。
事業趣旨をよくご理解頂いたうえで、ご活躍いただけるよう、準備段階からご協力くださる方を歓迎いたします。

- (1) 日時 平成16年2月29日(日)
(2) 場所 B & G財団(東京都港区虎ノ門1-15-1 海洋船舶ビル9階)

※ 上記以外に活動進行に必要な場合、日程相談のうえ、来訪をお願いする場合があります。

5. 集合・解散場所及び時間(予定)

- (1) 集合・解散場所 東京港晴海客船ターミナル(東京都中央区晴海5-7-1)
(2) 集合日時 平成16年3月26日(金) 午後1時00分
(3) 解散日時 平成16年4月1日(木) 午後1時00分

※ 集合・解散時間は現状での予定で今後変更する場合がございます。
※ 遠隔地の方の解散時間は、相談に応じます。

6. 主催者の負担と参加者の負担

(1) 主催者の負担

- ① 船賃(船内宿泊)
- ② 研修期間中(受付～解散)の宿泊代及び食事代
- ③ 研修期間中の研修活動費
- ④ 国内旅行傷害保険(当財団が付保する団体扱いのもの)

(2) 参加者の負担

- ① 事前活動及び事業実施時における集合・解散場所から自宅までの旅費
- ② 小遣い代、おみやげ代等個人的性質の費用
- ③ 国内旅行傷害保険(個人が任意で加入するもの)

7. 申し込み方法

所定の履歴書に下記の必要事項を記入し、原則としてEメール(kaiyo@bgf.or.jp)にて送信ください。
希望者多数の場合、書類選考(近郊在住者は面談をお願いする場合がございます)のうえ決定し、決定者には2月3日(火)迄にEメールにて通知いたします。
なお、申し込み書類は採否にかかわらず、返却いたしませんのでご了承ください。

- ① 氏名・住所・連絡先等(携帯電話・Eメールアドレス等含む)
- ② 経歴・保有資格等
- ③ 健康状態(良好・普通・不調の別)
- ④ 希望担当内容
- ⑤ 志望動機等
 - ・お申し込みの動機や子供達に伝えたいこと
 - ・自己PR「パーソナリティをどのような形で生かしたいか」
 - ・過去のボランティア活動歴等
 - ・研修担当希望の場合は、自分の力が発揮できると考えられるワークショップを、前回内容(次項記載)から選択、又は前回内容を参考に新たにご提案ください。

●申し込み締め切り 平成16年1月26日(月)

●お問い合わせ先

〒105-8480 東京都港区虎ノ門1-15-16 B & G財団 事業部海洋・企画課
TEL: 03-5521-6743 (事業部直通)
FAX: 03-5521-6745
Eメール: kaiyo@bgf.or.jp
※ 土・日・祭日は休業日となっています。

10. 携行品

普段着、運動着、水着、寝間着、下着類、運動靴2足（野外活動用1足・マリンスポーツ用1足）、帽子、雨具、洗面用具、筆記用具、常備薬、健康保険証（写し）、その他各自必要なもの ※ ご出発前に詳細についてご案内いたします。

11. ワークショップ活動内容（前回内容）

◆塩博士になろう 塩はどこから生まれるの？なぜしょっぱいの？などのクイズを通じ、塩の成分や性質などを学んだ後、その性質を確かめるための実験。塩を利用して氷点をつくってのアイスクャンデーづくり等、塩の不思議さを実感。	◆俳句コンテスト クルーズで発見したことや感じたことなどを俳句で表現。グループで俳句を出し合い、その俳句に合った絵を、折り紙を裂いた「ちぎり絵」で表現し発表。一番良い作品を投票してもらった。	◆客船で働く人々 「ふじ丸」乗組員の仕事から、通信部門・フロント部門・料理部門・ハウスキーピング部門を体験取材。ベッドメイキングや花毛布づくり、デッキウォッシュの体験や、船長や通信長への直撃インタビューをまとめ発表した。
◆小笠原の自然について この「体験クルーズ」の寄港地となった小笠原の自然を守っていくには何をしたら良いか。ゴミ問題など自然環境問題をスローガンに掲げポスターをつくり発表した。	◆魚の旬を知ろう 最初は魚編の漢字を読むゲームから、最後には、メンバーが4グループに分かれ、春夏秋冬のそれぞれの季節ごとに「旬の魚のポスター」をつくり参加者に発表した。	◆エアロビックタンス 協調性や表現性に重点を置き、「大きく広がる海への愛情」をテーマに参加メンバー全員で振り付けを考え、みんなでエアロビックを発表した。
◆「船乗り体験」目指せ航海士 「ふじ丸」航海士の説明を受け、クルーズの往復航路図の制作や、ローブワークプレートづくりのほか、船長インタビュー、デッキウォッシュなどを行った。	◆エコツアーを企画しよう クルーズ体験をもとに、“自然と一緒にになれる”、“自然を守るための方法”等を考えながら自分たちなりの「エコツアー」を企画し、ポスターをつくり発表した	◆排他的経済水域ってなんだろう？ 最初にダーツゲームを通じて「排他的経済水域」の理解を深めた後、早押しクイズで楽しみながら勉強。最後には理解内容を模造紙にまとめ発表した。
◆海の生き物から考える 講師の先生のお話や参考映像を見ながら、生物が生きていくために必要なことを学習。その後グループごとに生物を決め、その生物にとって“海とは何か”、“その生物と人がどうかかわっているか”、などについてディスカッションし、模造紙にまとめ発表した。	◆自走船を作ろう 蒸気を利用し推進する船を作製し、なぜ推進するのか考えるワークショップ。工作を参加者一人一人が行いました。実際に船を走らせ、なぜ走するのかを議論しながら理解していき、蒸気船の作り方と、なぜ走するのかをポスターにまとめ発表した。	◆海の中を覗いてみよう 海洋生物の水中写真パネルを見ながら、撮影した場所や周辺の環境、その生物の特徴等を、ダイバーのボランティアリーダーにインタビューして、その生態を学習。また、ダイビングビデオや装備品の実物、海辺・水中で気をつけることをまとめ発表した。

★詳細は、財団ホームページ

http://www.bgf.or.jp/about_us/2003/taiken/030329f01.html にてご確認ください。

12. 注意事項

- (1) 参加者は組織編成及び活動内容を考慮して決定いたします。止むを得ない事情を除き、決定後の参加辞退は、他のボランティア希望者の迷惑となりますので、予め、日程をご調整のうえ、お申し込みください。
また、万一、止むを得ない事情により、決定後に参加を取り消される場合には、速やかにご連絡をください。
- (2) B & G「体験クルーズ」では、部屋割り等についてのご要望は受け付けておりませんので、予めご了承ください。

B & G「体験クルーズ」は、洋上や寄港地での体験活動等を通して、青少年が「海」「船」「海洋環境」に対する認識を深め、海への理解を図るとともに、団体生活を通じて社会性を学ぶことにより、豊かな人間形成を図ることを目的に実施するもので、一般の観光旅行とは異なります。
そのため、ボランティアとして事業に協力いただく方の活動経費は、競艇公益資金によりまかなっております。
本事業の趣旨をご理解いただき、是非この機会にB & G「体験クルーズ」へご協力いただきますようご検討ください。